

学校教育目標

未来に向かって 心豊かにたくましく 自ら学ぶ生徒の育成

学校だより「この丘に」

発行：仙台市立南中山中学校

令和3年2月26日

校長 岡田 雅彦

生徒数 543名(令和2年2月1日現在)

〒981-3213 仙台市泉区南中山 2-26-1

TEL 022-376-3127 FAX 022-348-2358

URL <http://www.sendaic.ed.jp/~emuchu-x/>

e-mail emuchu-x@sendai-c.ed.jp

◇ 有終の美を飾るとき ◇

校長 岡田 雅彦

柔らかな陽射しが春の暖かさを感じさせる季節となりました。3年生は、いよいよ3月4日(木)・5日(金)に行われる公立高校の受験を控え、3月6日(土)の卒業式準備を進めているところです。

3年生の皆さんは、自己の目標達成に向かって頑張り続け、さまざまな困難に立ち向かって乗り越え、さらに仲間や家族の支えを得て悔いのない生活を送ってきたことと思います。その努力は経験した者にしか味わうことができず、きっと今後の生活の糧になることでしょう。残り少ない中学校生活を、それぞれの進路決定に向けた義務教育の総仕上げとして時間を費やして欲しいと思います。

1・2年生のみなさんは、この学校を巣立っていく卒業生に、今までお世話になった感謝の気持ちを持って、一生涯忘れることのできない感動的な最高の卒業式を創り上げてほしいと願っています。

卒業は、中学校生活を締めくくり新たなスタートとなる大切な節目の時です。その心構えをしっかりと持ち「有終の美」を飾ってほしいと願っています。

生徒の皆さんは、この1年間の取組やさまざまな経験をとおして、一回りも二回りも成長してきたことと思います。生徒一人一人にとって、良い出発ができるようしっかり備えてください。上級学校への進学・進級する心構えを持ち、残りの日々がさらに充実するよう期待しています。

保護者の皆様には、お子さんにとって各学年のまとめがしっかりできるよう、引き続き諸活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、卒業生の保護者の皆様には、ご多用のこととは存じますが、お子さまの晴れ姿をぜひ会場でご覧いただきますようお願い申し上げます。

おめでとう

令和2年度土砂災害防止に関する
絵画・作文コンクール
優良賞

令和2年度仙台市教育功績者表彰

令和2年度泉地区学校警察連絡協
議会 善行・篤行児童生徒表彰

第24回ピュア・ハーツアート展
書道・写真・その他の部
銅賞
絵画の部
銅賞

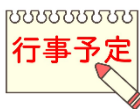
第66回全日本中学生通信陸上競
技大会(アシックスチャレンジカ
ップ)男子800m
第5位

ウェルフェアアート展2020
写真の部
銅賞
銅賞

第51回「私たちの作品展」
優秀賞

校内「ど根性ひまわり」イラスト
コンクール
優秀賞
優秀賞





3月の行事予定です。
今後の状況により変更する場合があります。

日	曜	予 定	日	曜	予 定
4	木	公立高校入試	16	火	中央委員会 公立高校合格発表
5	金	1・2年生弁当 部活中止	18	木	職員会議のため部活中止
6	土	第33回卒業式 部活中止	19	金	会議のため部活中止 給食・弁当なし
8	月	振替休業日	22	月	弁当 MKアップデート 公立高校二次募集試験
10	水	公立高校追試	23	火	弁当 公立高校二次募集合格発表
11	木	故郷復興プロジェクト	24	水	修了式（午前授業） 給食・弁当なし
15	月	1・2年生保護者会	26	金	離任式(10:30~11:30) 部活中止(~28日)

～ お互い様 ～

「デフバレーボール」という競技を知っていますか？数年前のこと、私は初めてこの競技を知りました。デフというのは、聴覚障害者のことで、試合中のコミュニケーションは手話です。ルールは私たちが知っているバレーボールとほぼ同じで、かなりレベルの高い競技種目です。そのためか聴覚障害者はパラリンピックには出場できないということを知りました。

リオパラリンピックテレビ解説者でろう者でもある早瀬憲太郎さんのインタビュー記事が、新聞に掲載されました。次の文はその時の早瀬さんの言葉です。想像しながら読んでみてください。

「僕にとっては、車いすの人も目の見えない人も『聞こえる世界』の人。」

「聞こえる人たちに、ろう者のことを知ってもらうには、僕も違う障害の人たちの世界を知らなくてはと強く感じた。」

「共生するためには、聞こえる世界と聞こえない世界があることを認めた上で、違いを知る。当たり前なことが当たり前でない世界がある。」

「障害者を異なる文化をもつ一人の人間として向き合う。障害があるとかないとかはどうでもいいこと。互いに学び合い、助け合う。『お互い様』になることが、共生社会の実現に近づく道。」

